



2013

2013(平成25)年11月1日深夜0時に渡り納めをした翌日、半世紀の歴史を閉じる小戸之橋への感謝と、生まれ変わる新・小戸之橋への希望を込めてフェスティバルを開催。橋を歩行者天国にし、橋市マーケットや歴史パネル展などで旧・小戸之橋の思い出を刻みました。

ありがとう小戸之橋
さようならフェスティバル

小戸之橋の架け替えにあたっては、コストの大幅削減や環境への負担を減らすために、仮橋を設置しない施工を進めることとなりました。利用者や地域住民に不便をかけることになりましたが、橋の重要性を再認識する機会にするため、旧橋撤去時から遊び心満載のイベントを実施しました。

特集1

新・小戸之橋が完成！ 開通までの7年半の歩み

旧・小戸之橋は平成25年11月1日から架け替えを開始しました。
今回の架け替え工事では仮橋を造らずに進めました。
多大な不便をおかけすることになりましたが、その分、新しい橋の誕生を待ち望み、
地域住民の心意気でこれまでにさまざまな取り組みを行ってきました。
完成までの7年半を振り返ります。



新橋の構造概要 橋種：コンクリート橋 橋長：506m(事業施工延長1.048m) 幅員：16~19m(片側1車線、車道4.5m×2、歩道3.5m×2)
橋台：逆T式橋台 橋脚：壁式橋脚 活荷重：B活荷重

小戸之橋架け替え プロジェクトが始動！



潮見小学校、恒久小学校の3年生を対象に開催した橋の特別授業。

旧橋から新橋へ、地域住民と協働して、時の流れと橋の生まれ変わりをつなぐ「小戸之橋架け替えプロジェクト」がスタートしました。小戸之橋の架け替えを、未来を担う子ども達の中に刻んでもらおうと、小学校3年生を対象に橋の特別授業を実施。ほかにも、専用のホームページや作業現場を撮影したリーフレットを作成しました。



ホームページはこちら！

2013~

小戸之橋の歴史

1949



【第一期】1949(昭和24)年、初代小戸之橋が完成しました。しかし、1954(昭和29)年に台風で一部が流失。残った木橋に鋼橋をつなげて復旧工事が完了しましたが、その後、木橋部分が流失。

1963



【第二期】1963(昭和38)年に旧・小戸之橋(鋼橋)の車道部分が完成し、使用を開始しました。1974年(昭和49)年に歩道部も工事が完了し使用が始まりました。車道部完成から約50年が経過し、老朽化が著しくなったこと、大型車の通行規制や台風時は通行止めが必要になったこと、また当時の設計基準により、橋脚が多く河川を阻害する要因となっていたこと、片側歩道で歩行者の安全が確保されていなかったことなどから、2013(平成25)年11月1日から通行止めにし、架け替え工事がスタート。



旧橋が撤去され赤江地区は活気がなくなりました。「通りを元気にしていきたい」との思いで活動を開始し、毎年、赤江小学校でフェスティバルを開催。地元の商店街を紹介するマップの作成、橋の工事現場の見学、地元を歩き回ったりなどの取り組みを行いました。プロジェクトを通して、赤江地区を知ってもらい、地元の人が地域の歴史に目を向けることができました。橋の架け替えが人をつなぎ、時をつないでくれたと思います。



赤江地域まちづくり推進委員会
会長
越山明典さん



小戸之橋の施工様子等をプロのカメラマンが撮影しリーフレットを作成。



小戸之橋専用のホームページを開設。